

A. 障害／病気

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
1	障害学への招待：社会、文化、ディスアビリティ	石川准、長瀬修編著 明石書店、1999	開架/社会学	
2	障害学の主張	石川准、倉本智明編著 明石書店、2002	開架/社会学	
3	障害者権利条約の実施：批准後の日本の課題	長瀬修、川島聡編 信山社、2018	中央書架/ 市ヶ谷法務	
4	障害法	菊池馨実、中川純、川島聡編著 成文堂、2015	開架/市ヶ谷 法務	本邦初の障害法のテキスト。障害と障害者を巡る多様で複雑な法制度の全体像ををわかりやすく解説。
5	社会的包摂と身体：障害者差別禁止法制後の障害定義と異別処遇を巡って	榊原賢二郎著 生活書院、2016	開架/社会学	
6	合理的配慮：対話を開く、対話が拓く	川島聡 [ほか] 著 有斐閣、2016	開架	
7	詳説障害者雇用促進法：新たな平等社会の実現に向けて 増補補正版	永野仁美、長谷川珠子、富永晃一編 弘文堂、2018	開架/市ヶ谷 法務	
8	障害者自立支援法とケアの自律：パーソナルアシスタンスとダイレクトペイメント	岡部耕典著 明石書店、2006	中央書庫	
9	発達保障の道：歴史をつなぐ、社会をつくる	河合隆平著 全国障害者問題研究会出版部、2018		
10	ディスアビリティ・スタディーズ：イギリス障害学概論	コリン・バーズ、ジェフ・マーサー、トム・シェイクスピア著；杉野昭博、松波めぐみ、山下 幸子訳 明石書店、2004	中央書庫	
11	障害の政治：イギリス障害学の原点	マイケル・オリバー著；三島亜紀子 [ほか] 訳 明石書店、2006	中央書庫/社 会学	
12	差別されてる自覚はあるか：横田弘と青い芝の会「行動綱領」	荒井裕樹著 現代書館、2017	開架	
13	障害と文学：「しのめ」から「青い芝の会」へ	荒井裕樹著 現代書館、2011	中央書庫	
14	障害者殺しの思想 増補新装版	横田弘著 現代書館、2015	開架	
15	母よ！殺すな	横塚晃一著 生活書院、2007	開架	
16	アイデンティティ・ゲーム：存在証明の社会学	石川准著 新評論、1992	開架	
17	人はなぜ認められたいのか：アイデンティティ依存の社会学	石川准著 旬報社、1999	開架	
18	障害社会学という視座：社会モデルから社会学的反省へ	榊原賢二郎編著 新曜社、2019	開架/社会学	
19	生の技法：家と施設を出て暮らす障害者の社会学 第3版	安積純子 [ほか] 著 生活書院、2012	開架	

No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
20	福祉と贈与：全身性障害者・新田勲と介護者たち	深田耕一郎著 生活書院、2013	開架	
21	障害学のアイデンティティー—日本における障害者運動の歴史から	堀智久著 生活書院、2014	中央書庫	「私たちは彼ら(障害者とその家族)に何をしてきたのか？」を問われるとき、私たちはどのような解答ができるだろうか。本書は、声を上げなければ、弱く、疎外されるだけの存在である当事者たちのレジスタンスである。
22	声に出せないあ・か・さ・た・な：世界にたった一つのコミュニケーション	天畠大輔著 生活書院、2012	社会学	
23	盲ろう者として生きて：指字によるコミュニケーションの復活と再生	福島智著 明石書店、2011	中央書庫	
24	目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤亜紗著 光文社、2015	開架	
25	カコは横に歩く：自立障害者たちの半世紀	角岡伸彦著 講談社、2010	中央書庫/社会学	
26	逝かない身体：ALS的日常生活を生きる（シリーズケアをひらく）	川口有美子著 医学書院、2009	開架	
27	不動の身体と息する機械：ALS（シリーズケアをひらく）	立岩真也著 医学書院、2004	中央書庫	
28	リハビリの夜（シリーズケアをひらく）	熊谷晋一郎著 医学書院、2009	開架	
29	当事者が語る精神障がいとりカバリー	YPS横浜ピアスタッフ協会、蔭山正子編著 明石書店、2018	開架	
30	風になる：自閉症の僕が生きていく風景	東田直樹著；ビッグイシュー日本編集部編集 ビッグイシュー日本、2015	開架	DVD NHKスペシャル「自閉症の君が教えてくれたこと」もあわせてオススメです。
31	跳びはねる思考：会話のできない自閉症の僕が考えていること	東田直樹著 イースト・プレス、2014	開架	
32	まあ、空気でも吸って：人と社会:人工呼吸器の風がつかぬもの	海老原宏美、海老原けえ子著 現代書館、2015	開架	
33	この顔と生きるということ	岩井建樹著 朝日新聞出版、2019	開架	
34	私がアルビノについて調べ考えて書いた本——当事者から始める社会学	矢吹康夫著 生活書院、2017	開架	アルビノの当事者である著者は、同じ疾患を持つ当事者たちに丁寧な聞き取りを行う。そのやり取りの中で、筆者自身が自らの経験を受容していく様子が読み取れる。当事者研究の名著である。
35	18歳のビッグバン：見えない障害を抱えて生きるということ	小林春彦著 あけび書房、2015	開架	
36	お月さん、とんでるね：點頭てんかんの娘と共に生きて（銀鈴叢書・ライフデザイン・シリーズ）	夏野いづみ著 銀の鈴社、2011	開架	小学校まで普通学級で学んだ娘は中学校の保護者の「要望」にどう行動したか。考えさせるドキュメンタリー。

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
37	困ってるひと	大野更紗著 ポプラ社、2011	開架	
38	ハンセン病者の生活史 隔離経験を生きるということ	坂田勝彦著 青弓社、2012	開架	「ハンセン病者であること」（つまり、つらく困難な社会であることまでも）をすべて引き受け、たくましく生きるハンセン病者の日常を鮮やかに記述した一冊。当事者研究の名著。
39	えんとこの歌：寝たきり歌人・遠藤滋 (Ise film books)	編集：いせフィルム、遠藤郁美 いせフィルム、2019		
40	コーダの世界：手話の文化と声の文化 (シリーズケアをひらく)	澁谷智子著 医学書院、2009	中央書庫	
41	良い支援?：知的障害/自閉の人たちの自立生活と支援	寺本晃久 [ほか] 著 生活書院、2008	開架/社会学	
42	介助者たちは、どう生きていくのか：障害者の地域自立生活と介助という営み	渡邊琢著 生活書院、2011	中央書庫/社会学	
43	被災経験の聴きとりから考える：東日本大震災後の日常生活と公的支援	土屋葉 [ほか] 著 生活書院、2018	開架/社会学	
44	はじめての手話：初歩からやさしく学べる手話の本 改訂新版	木村晴美、市田泰弘著 生活書院、2014	開架	
45	手話通訳者になろう	木村晴美、岡典栄著 白水社、2019	開架	
46	ろう者はストレンジャー (日本手話とろう文化)	木村晴美著 生活書院、2007	中央書庫	
47	手話の歴史：ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで 上・下	ハーラン・レイン著；斉藤渡訳 築地書館、2018	開架	
48	手話を言語と言うのなら	森壮也、佐々木倫子編 ひつじ書房、2016	開架	
49	デフ・ヴォイス	丸山正樹著 文藝春秋、2015		ろう者をテーマにしたミステリ小説ですが、謎解きよりも、ろう者を取り巻く社会状況の方に心が奪われます。
50	家族・支援者のためのガイドブック (精神障がい者の家族への暴力というSOS)	蔭山正子編著；横山恵子 [ほか執筆] 明石書店、2016	開架	
51	『発達障害当事者研究—ゆっくりていないにつなかりたい (シリーズケアをひらく)』	綾屋 紗月・熊谷 晋一郎著 医学書院、2008		
52	発達障害の素顔 (ブルーバックス B-1954)	山口真美著 講談社、2016	開架新書	
53	発達障害に気づかない大人たち (祥伝社新書)	星野仁彦著 祥伝社、2010	総合政策	
54	発達障害の自分の育て方	岩本友規著 主婦の友社、2016	開架	
55	発達障害と呼ばないで (幻冬舎新書)	岡田尊司著 幻冬舎、2012	心理学	
56	吃音の世界 (光文社新書 986)	菊池良和著 光文社、2019	開架	
57	吃音：伝えられないもどかしさ	近藤雄生著 新潮社、2019	開架	

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
58	発達障害の人の内定ハンドブック (発達障害の人の就活ノート)	石井京子、池嶋貴二、佐藤智恵著 弘文堂、2015		
59	発達障害の人の就活ノート	石井京子著 弘文堂、2010	心理学	
60	発達障害の人のビジネススキル講座	石井京子、池嶋貴二著 弘文堂、2011	心理学	
61	ちょっとしたことでうまくいく発達障害の人が会社の人間関係で困らないための本	對馬陽一郎、安尾真美著 翔泳社、2018		
62	当事者主権 (岩波新書)	中西正司、上野千鶴子著 岩波書店、2003	開架新書/社会学	
63	障害者のリアル×東大生のリアル	野澤和弘編著；「障害者のリアルに迫る」東大ゼミ著 ぶどう社、2016	開架	
64	ユーモアの即興から生まれる表現の創発：発達障害・新喜劇・リリツコミ	赤木和重編著 クリエイトかもがわ、2019		
65	セクシュアリティの障害学	倉本智明編著 明石書店、2005	開架	
66	手招くフリーク：文化と表現の障害学	倉本智明編著 生活書院、2010	中央書庫/社会学	
67	この子は育てにくい、と思っても大丈夫：生まれてきてくれて、ありがとう 子どもに伝えたいあなたのために	星山麻木著 河出書房新社、2017		
68	あん	ドリアン助川著 ポプラ社、2013	開架	樹木希林さん、永瀬正敏さんで映画にもなりました。ハンセン病を学ぶ入り口として。

B. ジェンダー／セクシャリティ／LGBT

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
69	ボーイズ：男の子はなぜ「男らしく」育つのか	レイチエル・ギーザ著；富田直子訳 DU BOOKS；ディスクユニオン (発売)、2019	開架	ジェンダーというと女性のことばかり語られがちですが、男性についてもしっかり考えるために。
70	介護する息子たち：男性性の死角とケアのジェンダー分析	平山亮著 勁草書房、2017	開架/社会学	男性性とケアについて。介護の視点から今の社会を新しい角度で見直すきっかけになるかもしれません。
71	ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた：あなたがあなたらしくいられるための29問	一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同著 明石書店、2019	開架/田町国際情報/理開	
72	#KuToo (クートゥー)：靴から考える本気のフェミニズム	石川優実著 現代書館、2019	開架	
73	戦う姫、働く少女 (POSSE叢書 003)	河野真太郎著 堀之内出版、2017	開架	
74	私たちの「戦う姫、働く少女」	ジェンダーと労働研究会編；河野真太郎 [ほか] 著 堀之内出版、2019	開架/独文/理工	

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
75	ぼそぼそ声のフェミニズム	栗田隆子著 作品社、2019	開架	就活・婚活、非正規雇用などについて、主流のフェミニズムからはこぼれて見過ごされてきた声を聞くための本です。
76	特集:シモーヌ・ド・ボエヴォワール (シモーヌ: 雑誌感覚で読めるフェミニズム入門ブック 1)	シモーヌ編集部編 現代書館、2019	開架	
77	日本のポストフェミニズム: 「女子力」とネオリベリズム	菊地夏野著 大月書店、2019	開架	新自由主義とジェンダーについて、まさに今ここにある私たちの問題を理解する強力な助けとなります。
78	クィアと法: 性規範の解放/開放のために	綾部六郎、池田弘乃編著; 関修 [ほか] 著 日本評論社、2019	開架/市ヶ谷法務	
79	LGBTってなんだろう?: 自認する性・からだの性・好きになる性・	薬師実芳 [ほか] 著 合同出版、2019	開架	
80	オレは絶対にワタシじゃない: トランスジェンダー逆襲の記	遠藤まめた著 はるか書房、2018	開架	
81	13歳から知っておきたいLGBT+	アシュリー・マーデル著、須川綾子訳、ダイヤモンド社、2017年	開架	英語圏の初心者向け解説書なので、日本の文献と比較しながら読むと興味深いと思います。
82	見えない性的指向 アセクシュアルのすべて——誰にも性的魅力を感じない私たちについて	ジュリー・ソンドラ・デッカー著、上田勢子訳、明石書店、2019年	開架	アセクシュアルについて日本語で読める唯一(2020年現在)の解説本です。
83	Xジェンダーって何?—日本における多様な性のあり方	Lable X編纂、緑風出版、2016年	開架	Xジェンダーについて詳しく知りたい人におすすめです。
84	LGBTのひろば ゲイの出会い編	城戸健太郎編、日本評論社、2020年	開架	本来は当事者向けですが、この本から若年層のゲイ男性が置かれている状況を垣間見ることができます。
85	BLの教科書	堀あきこ、守如子編、有斐閣、2020年		BL(ボーイズラブ)に関する学術研究入門書で、BLをテーマに卒論や修論を書こうと思っている人に最適です。
86	レズビアン・アイデンティティーズ	堀江有里著、洛北出版、2015年		レズビアンのアイデンティティ政治の歴史やその背景について丁寧に書かれた本です。
87	LGBTとハラスメント	神谷悠一、松岡宗嗣著、集英社新書、2020年	開架新書/iTL	社会も法律も変わっています。基礎知識から実践まで、今知っておくべきことが詰まっています。
88	LGBTをめぐる法と社会	谷口洋幸編著 日本加除出版、2019	開架	中央大学で実施した連続講座の書籍化。法律実務や行政に関心のある方にお勧めです。
89	LGBTを読みとく: クィア・スタディーズ入門 (ちくま新書 1242)	森山至貴著 筑摩書房、2017	開架新書	

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
90	自分らしく働くLGBTの就活・転職の不安が解消する本	星賢人著、翔泳社、2020年	iTL/理開	「自分らしく」働くことを考えたいすべての人に、就活の準備の時から読んで欲しい一冊。
91	先生と親のためのLGBTガイド：もしあなたがカミングアウトされたなら	遠藤まめた著 合同出版、2016	教育学	
92	カミングアウト (朝日新書 666)	砂川秀樹著 朝日新聞出版、2018	開架新書	
93	カミングアウト・レターズ	砂川秀樹著 太郎次郎社エディタス、2007	開架	
94	アイデンティティ,コミュニティ,スペース (クィア・スタディーズをひらく1)	菊地夏野、堀江有里、飯野由里子編著 晃洋書房、2019	開架/田町国際情報	
95	趣味とジェンダー：「手づくり」と「自作」の近代	神野由紀、辻泉、飯田豊編著 青弓社、2019	開架/中央書庫	
96	ジェンダー写真論 1991-2017	笠原美智子著 里山社、2018	開架	
97	よくわかるスポーツとジェンダー (やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ)	飯田貴子、熊安貴美江、來田享子編著 ミネルヴァ書房、2018	開架/西洋史/社会情報	
98	女性・スポーツ大事典：子どもから大人まで課題解決に役立つ	スタウロウスキー編著；宮下充正日本語版監修；井上則子、山田ゆかり監訳 西村書店、2019	参考	
99	歴史を変えた50人の女性アスリートたち	レイチェル・イグノトフスキー著 創元社、2019	開架	
100	読むことのクィア (研究叢書 / 中央大学人文科学研究所編 70, 愛の技法 続)	中央大学人文科学研究所編 大田美和、長島佐恵子、森岡実穂 [ほか]著 中央大学出版部、2019	開架/中央書庫	
101	お砂糖とスパイスと爆発的な何か：不真面目な批評家によるフェミニスト批評入門	北村紗衣著 書肆侃侃房、2019	開架	
102	82年生まれ、キム・ジョン	チョ・ナムジュ著；斎藤真理子訳 筑摩書房、2018	開架	女性はそんなに不利益ある？と感じている人でも、これじゃだめだ、と一瞬にして変わることができる本です。映画化され話題です。
103	女になる方法：ロッキンロールな13歳のフェミニスト成長記	キャトリン・モラン著；北村紗衣訳 青土社、2018	開架	
104	女性のいない民主主義 (岩波新書)	前田健太郎著 岩波書店、2019	開架新書	
105	自分ひとりの部屋	ヴァージニア・ウルフ著、片山亜紀訳、平凡社ライブラリー、2015年	開架	女性が才能を活かして生きるためには必要なものとは—100年前のイギリスから国も時代も超えて響くメッセージです。
106	母ふたりで "かぞく" はじめました。	小野春著、講談社、2020年	開架	「結婚の自由をすべての人に」訴訟の原告でもある著者と"かぞく"の物語。家族とは、結婚とは、何なのかを考えるために。

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
107	10代から知っておきたいあなたを閉じこめる「ずるい言葉」	森山至貴著、WAVE出版、2020年		上から目線や決めつけなどの「ずるい言葉」に立ち向かうための実践書。友達や同僚と一緒に読むのも楽しいかも！
108	福田敬子：女子柔道のパイオニア（DVD）	ユリコ・ガモウ・ロマー監督 バンドラ（発売）；[2017?]		
109	花ばあば	クオン・ユンドク 著；桑畑 優香訳 ころから、2018	開架（購入中）	11/16(月)にこの本を題材とした映画の上映を行います！
110	わたしの描きたいこと 絵本作家クオン・ユンドクと『花ばあば』の物語（I）	クオン・ヒョ監督、制作ザ・ビッグ・ピクチャーズ、販売ころから、2012年		上記上映会でご覧いただけます。
111	痴漢とはなにかー被害と冤罪をめぐる社会学	牧野雅子著、イトセトラブックス、2019年	開架	痴漢についての本格的な研究書。レポートの参考文献にお勧め。犯罪学に興味のある方にも。
112	草	キム・ジェンドリ・グムスク著；都築 寿美枝、李吟京 訳；ころから、	開架（購入中）	

C. グローバル/インターナショナル/ダイバーシティ

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
113	排除と差別の社会学	好井裕明著 有斐閣、2016	開架/教育学	エスノメソドロジーを視角に、「構造化された差別」(表層では差別がないように見えるが、深層ではむしろ根深いものとなっている状態)にフォーカスした名著。私たちの「あたりまえ」を再考するうえで欠かせない一冊。
114	「共生」の内実：批判的社会言語学からの問いかけ	植田晃次、山下仁編著 三元社、2006	開架	
115	真のダイバーシティをめざして：特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育	ダイアン・J.グッドマン著；田辺希久子訳 Sophia University Press上智大学出版、2017	開架	
116	異文化トレーニング：ポーダレス社会を生きる 改訂版	八代京子 [ほか] 著 三修社、2009	開架/社会学	
117	多文化社会の「文化」を問う：共生/コミュニティ/メディア	岩淵功一編著 青弓社、2010	開架	
118	ろう者から見た「多文化共生」：もうひとつの言語的マイノリティ(シリーズ多文化・多言語主義の現在；5)	佐々木倫子編 ココ出版、2012	中央書庫	
119	かかわることば：参加し対話する教育・研究へのいざない	佐藤慎司、佐伯胖編 東京大学出版会、2017	開架	
120	教師と人権教育：公正、多様性、グローバルな連帯のために	オードリー・オスラー、ヒュー・スターキー著；橋崎頼子 [ほか] 訳 明石書店、2018	開架	

No.	タイトル	著编者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
121	「多文化共生」は可能か：教育における挑戦	馬淵仁編著 勁草書房、2011	開架	
122	多文化教育をデザインする：移民時代のモデル構築	松尾知明編著 勁草書房、2013	開架/教育学	
123	人間成長を阻害しないことに焦点化する教育学：いま必要な共生教育とは（シリーズ多文化・多言語主義の現在 1）	高橋舞著 ココ出版、2009		
124	多文化社会の偏見・差別—形成のメカニズムと低減のための教育	加賀美 常美代、横田 雅弘、坪井 健、工藤 和宏、異文化間教育学会(企画) (監修)、明石書店、2012	開架/教育学	
125	大学における多文化体験学習への挑戦：国内と海外を結ぶ体験的学びの可視化を支援する	村田晶子編著 ナカニシヤ出版、2018	中央書庫	
126	ヒューマンライブラリー—多様性を育む「人を貸し出す図書館」の実践と研究	坪井 健、横田 雅弘、工藤 和宏編著、明石書店、2018	開架/社会情報	
127	多文化間共修：多様な文化背景をもつ大学生の学び合いを支援する	坂本利子、堀江未来、米澤由香子編著 学文社、2017	開架	
128	「正しさ」への問い：批判的社会言語学の試み	野呂香代子、山下仁編著 三元社、2001	開架	
129	ことばの「やさしさ」とは何か：批判的社会言語学からのアプローチ	義永美央子、山下仁編 三元社、2015	開架	
130	グローバル化と言語政策：サステナブルな共生社会・言語教育の構築に向けて	宮崎里司／杉野俊子 明石書店、2017	開架	
131	市民性形成とことばの教育：母語・第二言語・外国語を超えて（リテラシーズ叢書 6）	細川英雄、尾辻恵美、マルチエツラ・マリオツティ編 くらしお出版、2016	中央書庫	
132	事典日本の多言語社会	真田信治、庄司博史編集 岩波書店、2005	参考	
133	「やさしい日本語」は何を指すか：多文化共生社会を実現するために	庵功雄、イヨンスク、森篤嗣編 ココ出版、2013	開架	
134	日本語教育学のデザイン：その地と図を描く	神吉宇一編著；名嶋義直 [ほか] 著 凡人社、2015		
135	「多言語社会」という幻想（近代日本言語史再考 / 安田敏朗著 4）	安田敏朗編著 三元社、2011	中央書庫	
136	節英のすすめ：脱英語依存こそ国際化・グローバル化対応のカギ!	木村護郎クリストフ編著 萬書房、2016	開架	
137	外国人とのコミュニケーション（岩波新書）	J・V・ネウストプニー著 岩波書店、1982	開架新書	
138	ディアスポラ紀行—追放された者のまなざし	徐京植著 岩波書店、2005	開架新書	

No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
139	在日外国人（第三版）—法の壁、心の壁	田中宏著 岩波新書、2013年	開架新書	在日外国人を知るための入門書。歴史的に在日外国人をめぐる状況がどう法的・社会的に変化したのか、わかりやすく解説しています。
140	『家族写真をめぐる私たちの歴史：在日朝鮮人・被差別部落・アイヌ』	皇甫 康子（責任編集）・ミネ（編）御茶の水書房、2016	開架	日本に生きるさまざまなルーツを持つ女性たちが自分や家族のことを語っている本。「もう一つの日本史」をマイノリティ女性やインタセクショナル리티の視点から考えることができます。
141	在日詩集 詩碑	丁章著、新幹社、2016	開架	文学部グローバルスタディーズで訪問する喫茶美術館店主・詩人の小熊秀雄賞最終候補詩集。
142	前夜	黄英治著、コールサック社、2015	開架	2020年度文学部「入門 外国文学」のゲストスピーカーの小説。ヘイトスピーチと日本社会がテーマ。
143	モスクへおいでよ	瀧井宏臣著 小峰書店、2018		
144	慈悲深き神の食卓：イスラムを「食」からみる	八木久美子著 東京外国語大学出版会、2015	開架	
145	Q&Aハラルを知る101問：ムスリムおもてなしガイド	福島康博著 解放出版社、2018	開架	
146	多文化社会で多様性を考えるワークブック	有田佳代子、志賀玲子、渋谷実希編著 研究社、2018		
147	五つ数えれば三日月が	李琴峰著 文藝春秋、2019		
148	独り舞	李琴峰著 講談社、2018	開架	
149	『「国語」から旅立って（よりみちパン! セ）』	温又柔著 新曜社、2019	開架	
150	世界の難民をたすける30の方法	滝澤三郎編著 合同出版、2018	開架	
151	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ著 新潮社、2019	開架	
152	明日の子供たち	有川浩著 幻冬舎、2014	開架	よくニュースや記事になるわりにはあまり知られていない児童養護施設。文庫のあとがきからお読みください。

No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
D. 卒業生著作				
No.	タイトル	著編者/出版社/ 出版年	配架場所	推薦コメント
153	全盲先生、泣いて笑っていっぱい生きる	新井淑則著 マガジンハウス、2009	開架	
154	運命の顔	藤井輝明著 草思社、2003	開架	
155	はじめて学ぶLGBT：基礎からトレンドまで	石田仁著 ナツメ社、2019	開架/社会情	初心者向けの解説本としてわかりやすく、かつ網羅的に紹介されていておすすめです。学術研究としてセクシュアリティを扱うについても一部解説されているので、卒論などでLGBTを扱う方はぜひ一読を。
156	発達障害の自分の育て方	岩本友規著 主婦の友社、2016	開架	
157	あなたは顔で差別をしますか：「容貌障害」と闘った五十年	藤井輝明著 講談社、2008	開架	
158	オネエ産婦人科：あなたがあなたらしく生きること	豪田トモ著 サンマーク出版、2019	開架	
159	光を失って心が見えた：全盲先生のメッセージ	新井淑則著 金の星社、2015	開架	
160	いま、絶望している君たちへ：パラアスリートで起業家。2枚の名刺で働く	初瀬勇輔著 日本経済新聞出版社、2019	開架	